

今月の一庫ダム



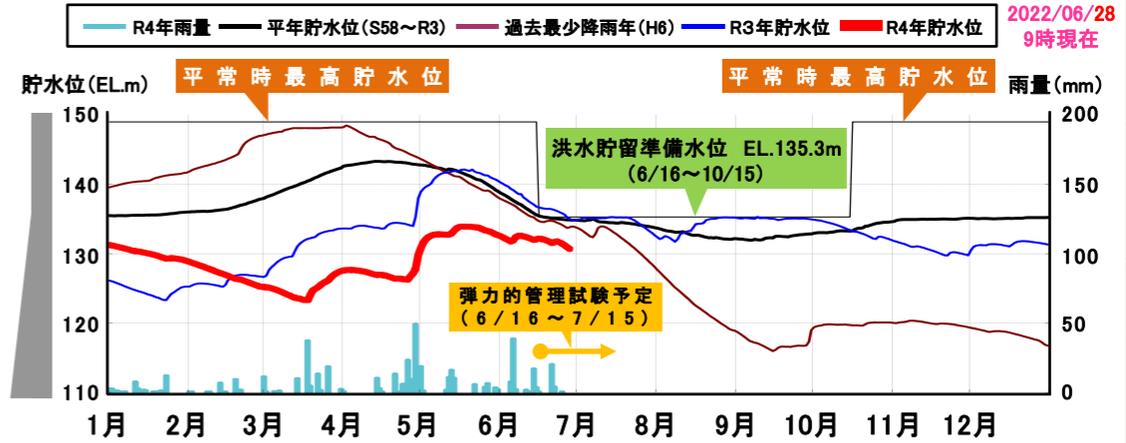
●雨量、貯水池状況、流況

5月の月雨量(ダム流域平均雨量)は79.1mmで、
 昨年157.1mmに対し
 約50%の雨量でした。

一庫ダムの下流河川の状態は、利水基準地点虫生(むしゅう)へ14日間約55万m³を補給しました。

6月28日現在、
 貯水率は約74.7%です。
 (6月1日から自主節水実施中)

一庫ダムの主な年間貯水位曲線と令和4年の日雨量



貯水池の状況 (R4.06.17撮影)
 貯水位 EL. 132.14m



利水基準点 (虫生地点) の位置



ツイッターでも情報やお知らせをいち早く発信しています!

@jwa_hitokura

Topics

大雨のとき、ダムはなにをいているの?

梅雨時や台風など、6月から秋にかけて、降水量が多くなる季節です。大雨がふると、ダムは防災操作(ダムの操作)を行います。



▼一庫ダムの防災操作

防災操作は大雨によってダムに入ってくる水の量がある一定量を超えた場合に行うものです。ダムへ流れ込む水の一部をダムに貯め込み、下流に流れる水の量を減らすことでダム下流域の洪水被害を軽減します。一庫ダムでは、ダムに入る水の量が毎秒200m³以下までは、入ってくる水量と同じ量を放流し、毎秒200m³を上回った場合に、それを超える量の水を貯め込む操作をします。

の量は限りがあるため、ダムに全て貯め込むと、ダムはすぐ満杯になってしまいます。下流に被害のおそれがないときには水を貯めず、ダム容量を残し、水量が大きくなるとのままで下流に被害が生じそうなときに、ダムに水を貯め始めることで、満杯になるのを回避しつつ下流の被害も防ぐ操作をしています。その絶妙なバランスで効果が最大発揮される時の放流量が毎秒200m³というわけです。

水資源機構 YouTubeでも防災操作の詳しい動画を見ることができます!

ダムがある場合



上流からの洪水の一部をダムに貯め込んで、下流に流れる水の量を減らします。支川から洪水が流入しても、ダムで減らした水量分、浸水被害が軽減されます。

ダムがない場合



もしダムがない場合には、上流からの洪水がそのまま下流に流れ、支川からの洪水が加わり、下流域において浸水被害などが発生するおそれがあります。

▼事前放流

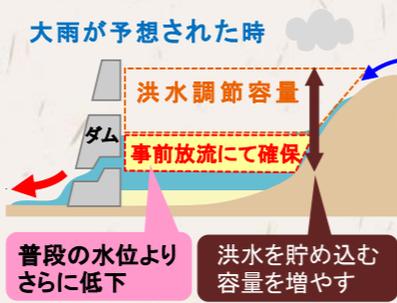
事前放流は、台風等で大雨が予測された場合に、ダムに貯まっている水の一部を事前に放流し、洪水を貯め込むための空き容量を一時的に増やす操作です。

台風で大雨になりそう



より多くの洪水を貯め込むことができるため、ダムが満杯になるのを回避したり、満杯までの時間を遅らせることで、ダムの洪水調節機能が強化され、ダム下流の浸水被害の軽減を図ることができます。

事前放流



事前放流は、気象庁が発表する降雨予測をもとに、洪水が予想される最大3日前から行います。

「おねがい」事前放流を行うと雨が降っていないのにダムからの放流が増え、河川の水位が上昇します。事前放流を行う前には、スピーカー、サイレン等で注意喚起を行いますので、河川に入らないようにしてください。



発電に資する洪水後期放流活用操作

発電に資する洪水後期放流活用操作とは、洪水でダムに貯め込んだ水の放流方法を工夫して再生エネルギーを新たに創出しようとする取組です。これまでは、洪水終了後は次の洪水に備えて、速やかに貯め込んだ水を下流に放流してまいりました。しかし、気象予測を活用し、ダムの洪水調節に支障の無い範囲でできる限り発電に利用しながら放流することで発電量の増大が見込めます。加えて普段より高い水位を利用して発電することになり、より多くの発電量が見込めます。

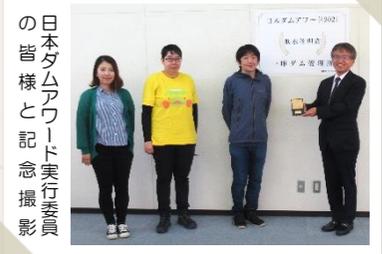
祝

ダムアワード2021「低水管理賞」の授賞式

昨年受賞したダムアワード2021「低水管理賞」の授与式があり、日本ダムアワード実行委員会の萩原雅紀さんから記念品（盾）が授与されました。今回の低水管理賞受賞を励みとして、これからも地域の安全安心を支え、皆様に信頼されるダム管理を目指して精進してまいります。



記念品（盾）が授与されました



日本ダムアワード実行委員の皆様と記念撮影

季節のイベント

稚アユの放流体験を実施！

6月12日（日）、川西市西畦野にある文珠橋付近にて猪名川漁業協同組合協力のもと、稚アユの放流体験を実施しました。令和元年度以来、3年ぶりの開催で、12家族42名の方に参加していただきました。始めに、参加者の皆様に「アユ」について知っていただくために、アユの生態などの説明を行いました。その後、水槽車で運ばれてきた稚アユをバケツに移し、水辺で放流してもらいました。初めて稚アユに触れるお子さまも多く、大変喜んでいただきました。

放流後は、アユがすむのに適した川なのかを確認していただくために水質の測定をし、水質に問題がないことを確認して、イベントは終了となりました。これを機に、地域の皆様が「一庫ダム」や「アユ」について少しでも興味を持っていただけたなら、幸いです。



高校生との水耕栽培&軟化栽培 始動！

毎年、一庫ダムで水質浄化の効果を期待して行っているダム湖上での空芯菜の水耕栽培。令和4年度は、新たに猪名川町で農業の勉強をされている猪名川甲英高等学校の生徒の皆さんが加わり、栽培面積も1.5倍に拡大し栽培を開始しました。



空芯菜の水耕栽培



アスパラガスの軟化栽培
アスパラガスの発芽

また、空芯菜の栽培とは別に、猪名川甲英高等学校の生徒の皆さんと「軟化栽培」の実験を始めました。軟化栽培とは、野菜を暗闇や弱光の中で生育させ、軟化させる栽培方法です。栽培場所は、一庫ダム建設工事の際に、止水工事のため作られたリムトンネルを利用しています。軟化栽培第1弾は、アスパラガス！はたして、どのようなアスパラガスが生育するか、今から楽しみですよ！

一庫ダムの今昔物語

建設編①

一庫ダム・骨材プラント跡地ー出合なぎさ地区ー

一庫ダム建設中であった40年以上前、出合なぎさ地区にはコンクリートの材料である骨材（石や砂）を貯蔵するプラントが立ち並んでいました。ダム本体が完成した後は、建設時の地形を活かし、現在の出合なぎさ地区が整備されました。

現在でも知明湖の水位が下がると、プラントが建っていた八角形のコンクリート製のプラント基礎が現れ、当時の面影を感じ取ることができます。



骨材プラントと骨材プラント用濁水沈殿池を望む



知明湖
出合なぎさ地区

一庫ダム

一庫ダム管理所で
あじさい
紫陽花とダリアが咲きました♪
関西地方も梅雨入りし、一庫ダム管理所内の紫陽花とダリアが今年も綺麗に咲きました。ダリアは川西市黒川地区にある「黒川ダリア園」より種をいただきました。ダリア園のある黒川地区は、川西市最北部に位置し「日本の里100選」にも選ばれています。一庫ダムは、周辺地域の里山や、色とりどりの季節の花々など自然の魅力にあふれています。



紫陽花は土壌のpH（酸度）によって色が変化するそうです。奥深い花として知られる紫陽花に魅了されます。



「黒川ダリア園」の花の見頃は10月上旬から10月下旬ごろ。オープン時には、またお知らせしたいと思います♪

出合なぎさ地区

現在



建設当時の面影が見られる八角形のプラント基礎。

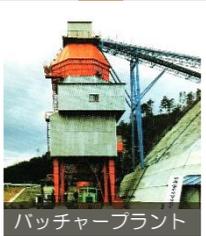
（貯水率30%：R4.2.10撮影）

建設当時のようす

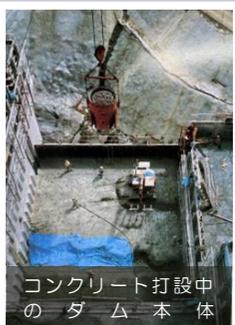


骨材プラント（骨材製造設備）

ダム本体で使用するコンクリートをつくるためのコンクリート練り混ぜ機（パッチャープラント）までベルトコンベヤーで骨材を供給。



パッチャープラント



コンクリート打設中のダム本体

独立行政法人 水資源機構
一庫ダム管理所

〒666-0153
兵庫県川西市一庫字唐松4番地の1

TEL:072-794-6671

FAX:072-794-1908



一庫ダムHP

